

【事業者向け】児童発達支援自己評価集計結果 2023年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	職員の人数は適切であるか	5	6	0	人員基準的には職員の配置は満たしているが、他のサービス利用者の兼ね合いにより人手が欲しい時がある。安全確保を最優先に考えながら対応する。
	2	事業所の設備等について、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	0	0	
業務改善	3	業務改善のための目標設定や振り返りに、広く職員が参画しているか	8	2	無回答 ¹	
	4	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	0	0	
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、計画書を作成し、計画に沿った支援が行われているか	8	3	0	計画書の作成、モニタリングは管理者中心に複数のスタッフで行い、計画に沿ったサービスについて朝のミーティングで共有している。
	6	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	0	0	
	7	定期的に、職員間で打ち合わせを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	0	0	
	8	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	1	0	
	9	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1	0	
関係機関や保護者との連携	10	相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	10	1	0	担当者会議ではなくモニタリングで情報提供している
	11	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	2	0	必要に応じて行う
	12	就学前施設・学校・他事業所等との間で、相談支援員を通ず等して、移行に向けて支援内容等の情報共有と相互理解に努めているか	11	0	0	必要に応じて行う

裏に続きがあります

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	13	障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	1	0	スタッフが間に入り一緒にサッカーやトランプなどで遊ぶ機会がある。
	14	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	2	0	一方的に共通理解を持っていると思っている場合もあるので、送迎の際など話す機会があるたびに近況を尋ねることになっている。
保護者への説明責任など	15	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	0	0	保護者の方の理解度や拘り方に応じて説明をするように心がけている。
	16	必要に応じて保護者からの子育ての悩み等に対する相談を受け、必要な助言や支援を行ったり、保護者同士の連携を支援しているか	5	5	無回答 ¹	保護者同士の連携を支援する座談会のような場を持たせたい。コロナ禍の影響も少なくなったため、来年度から利用者家族も含めた座談会を再開する予定。
	17	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	0	
	18	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	0	0	
	19	個人情報に十分注意しているか	11	0	0	
	20	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1	0	
	21	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11	0	0	餅つきや感謝祭など
	22	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	1	0	
非常時	23	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	11	0	0	
	24	食物アレルギーのある子どもについて、適切に対応がされているか	11	0	0	
	25	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	0	0	